

第19回企画展(会期：平成26年1月15日(水)～4月6日(日))

太田静六が見た福岡の建造物

—太田静六資料展—



Kyushu Historical Museum Exhibition guide

はじめに

太田静六氏(1911～2009)は、昭和期に九州大学工学部などで活躍した建築史学の研究者です。寝殿造や西洋古城の研究を進めた一方、福岡県内においても様々な建造物を調査し、多くの図面や写真を残しました。それらは、後に福岡県教育委員会に「太田静六資料」として寄贈され、現在は九州歴史資料館に所蔵されています。また、大宰府史跡の発掘調査にも深く携わり、自身も建築史学の立場から太宰府市横岳崇福寺跡の発掘調査を行うなど、文化財の保護にも尽力しました。

本展では、太田が調査を行った建造物の部材や遺物、そして寄贈された図面と写真を中心に、一人の建築学者が見た福岡の建造物に迫ります。

1 太田静六の生涯と研究

太田静六は明治の末、東京に生まれました。早稲田大学で建築学を専攻し、卒業後に就職した東京帝室博物館(現在の東京国立博物館)では、絵巻物や文献に対する造詣も深めていきます。

太田はこれらの知識を元に、まず寝殿造と古代寺院の研究に取り組みました。その後戦争で一旦学問を中断し、多くの資料も失いましたが、戦後に再び研究を始めます。九州大学赴任後は農村の民家やアーチ橋など



太田静六(九州大学提供)

にも研究の目を広げ、それらの保存も訴えました。

また2度にわたって長期留学するなど海外の建築史にも目を向け、西洋の古城や宮殿についての著書も出すなど、建築史学の分野で多様な業績を残しました。

2 建造物の調査と保存

太田は昭和33年(1958)、九州大学教授となり、建築学の研究室に着任します。以後、福岡県内をはじめ九州各地の様々な建物を調査する一方、古代寺院跡など遺跡の調査にも加わりました。ここでは、太田が調査を行った3つの建造物等について紹介します。

(1) 旧福岡県庁舎

大正4年(1915)、福岡市天神に西洋建築の県庁舎が建ちました。地上2階建ての建物で、レンガ造りながら外壁に薄い石やモルタル漆喰を塗り、石造りに見せていました。内部には知事室以下の県の部署の他に、福岡県会(現在の県議会)の議場も設置されています。広間や知事室、議場などの壁や天井には、随所にレリーフやステンドグラスなどの装飾が施されていました。

昭和56年(1981)、県庁移転で役目を終え、解体されましたが、玄関部分の列柱が天神中央公園に設置されています。

(2) 二代目博多駅舎

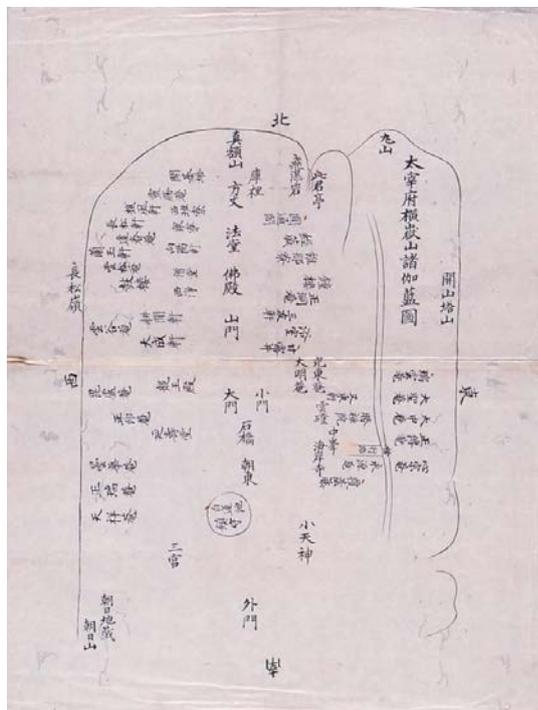
博多駅は明治22年(1889)に九州最初の鉄道と共に開業しますが、明治42年、二代目の駅舎が建てられました。ネオ・ルネサンス様式のレンガ造り2階建て建築で、柱1本に至るまで装飾が施され、内装も三等待合室にまでマントルピース(暖炉の飾り)を導入するなど豪華な建物でした。その美しさは、当時の建築界の権威、辰野金吾にも絶賛されたと伝えられています。

昭和38年(1963)に駅の移転で解体されましたが、駅舎の柱が現在の博多駅の屋上に建てられています。

(3) 太宰府市横岳崇福寺跡

崇福寺は、鎌倉時代に開かれた日本における代表的な初期禅宗寺院です。武藤氏の庇護のもと名僧が活躍し、隆盛時には、四王寺山南麓の広大な地に、禅宗様式の七堂伽藍をはじめ、十三塔頭、十七庵を擁したといわれます。

昭和42年(1967)、東観世団地の造成に先立ち太田ら九州大学工学部建築学科と福岡県教育委員会によって発掘調査が行われ、法堂(仏殿)と僧堂の創建期と再建期の2時期の様相が明らかとなりました。また、鬼瓦、巴文軒丸瓦、唐草文軒平瓦、土師器などの遺物も出土しました。



太宰府横嶽山諸伽藍図 (福岡市博物館蔵)

3 太田静六資料の世界～図面と写真から～

太田は九州において多くの建造物の調査を行い、数百点の図面と、膨大な写真を残しました。調査対象は西洋建築、日本建築、近代建築、伝統建築など種類を問わず多岐にわたっており、太田の視野の広さがうかがえます。調査された建造物の中には、現存しないもの、状態が変化しているものもあります。

たとえば、福岡市に建つ旧福岡県公会堂は、貴賓館と呼ばれる本館部分は現存していますが、講堂(集会所)の建物は取り壊されています。太田資料では、この講堂部分も含めた実測図や写真が残されており、建物全体のかつての姿を知ることができます。

また九州各地で古民家が次々と消えようとしていた時期には、著書などで民家の保存を訴えると共に、多くの民家を図面と写真によって記録していきました。特に九州には屋根を「コ」の字型に配した「くど造」など、特徴ある屋根の民家がありましたが、太田はこれらについて間取り図の他に屋根の配置図も記しています。

このように、太田静六の残した図面や写真は、かつての福岡県をはじめ、九州各地の建造物の姿を現在に伝える、貴重な資料と言えます。

(学芸調査室 渡部邦昭・岡寺 良)

太田静六資料の図面と写真



旧福岡県庁舎



二代目博多駅舎の実測図



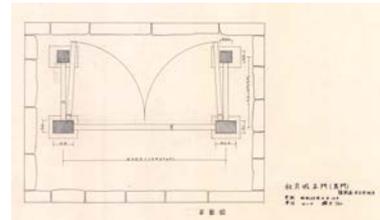
横岳崇福寺跡発掘調査現場



旧福岡県公会堂の実測図



くど造の古民家



秋月城黒門の実測図



編集 発行: 平成26年1月15日

九州歴史資料館
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

〒838-0106 福岡県小郡市三沢 5208-3
TEL 0942-75-9575 FAX 0942-75-7834
URL <http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/kyureki/>